

思いやりと健康で 暮らしやすいまち 千郷

★ほんのなかに、ほくの「なかま」が
「なんびき」いるか、さがして、かかえてみてね！
※こたえは、いちばんうしろのページ。

みんなが活躍できるまちづくり計画

計画期間：令和元年度 ▶▶▶ 令和10年度までの10年間

地域活動
応援ブログ



千郷自治振興
事務所

ホームページ



新城市の市民自治
シンボルマーク

千郷地域協議会

千郷自治振興事務所

検索

イラスト/デザイン
千郷中学校芸術部 藤木歩美さん(3年)
城所邑衣さん(2年)



地域計画の策定にあたって …………… 2

計画書ができるまで

1 千郷地域自治区の現況 …………… 3

地域の概要

地域の移り変わり

地域の問題点・要因の整理（まちづくりの現状と課題）

2 千郷地域のめざす姿 …………… 7

「思いやりと健康で暮らしやすいまち千郷」

3 めざす姿を実現するための取組み ……… 8

目標 1 若者に魅力あるまち

目標 2 安心して暮らせるまち

目標 3 きれいなまち

目標 4 高齢者が暮らしやすいまち

目標 5 歴史・伝統文化に誇りを持てるまち

目標 6 思いやりと助け合いができるまち



4 地域計画策定の経過 …………… 21

地域計画策定分科会等における計画策定までの経過

5 地域計画の推進体制 …………… 21

進行管理

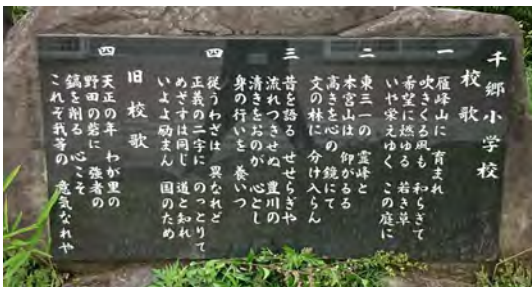
6 組織構成 …………… 22

千郷地域協議会 / 地域計画策定分科会

・【平成 29 年度地域協議会委員】

・【平成 30 年度地域協議会委員】

・【令和 元 年度 地域協議会委員】



新城市の
市民自治
シンボルマーク



★この「シンボルマーク」は、平成 28 年度に公募により決定したものです！

★「地域自治区制度」の目標、また今後の地域のあり方がこのマークで表現されています！

★「地域自治区制度」は「自治基本条例」という市のルールによって制度化されており、「自治基本条例」の目的として、第 1 条『この条例は、新城市のまちづくりに関する基本的な理念並びに市民、議会及び行政の役割及び仕組みを明らかにすることにより、市民が主役のまちづくりを推進し、元気に住み続けられ、世代のリレーができるまちを協働してつくることを目的とします。』と明記されていることから、市民自治のシンボルマークはひらがなで「じち」と書いてあり「じ」と「ち」を人に見立ててリレーしている姿を現しています！

★また、色彩は市内を流れる清流の青色、自然豊かな山々の緑色、そして、世代をつなぐバトンに桜の桃色をイメージしています！

地域計画の策定にあたって

住み続けたいと思える暮らしって？



どんな千郷で暮らしたい？

快適で住み続けたいと思える暮らしを考えると、千郷の魅力って何ですか？

千郷の課題って何ですか？

10年後の千郷をもっと快適で住み続けたいと思える地域にするために、地域の皆さんにとっての千郷をきちんと見つめることが大切です。

◆◇◆ 計画書ができるまで ◆◇◆



□地域協議会において作成の手順（現状把握▶将来像設定▶行動計画）を定めました。

□地域の現状を把握するために住民の皆様にもちづくりアンケートや地域の各種活動団体等へのヒヤリングを実施しました。

□アンケートは平成29年10月に実施し、コンサルタントからの分析についてレクチャーを受けながら現状把握を行い、住民の皆さんが望む10年後の姿を定めました。

□計画の期間は「令和元年度から令和10年度まで」の10年間として策定しましたが、市の政策や地域の状況などの変化にあわせ、必要に応じて見直しできるものとします。



1 千郷地域自治区の現況

■千郷地域の概要

千郷地域自治区は、新城市の西部に位置し、22・56km²の面積を有し、雁峰の山々と豊川に挟まれて、その間は平らな段丘面となっており、所々雁峰から流れ出る小川に段丘面が削り取られている。現在、雁峰の山林の多くは千郷財産区や共有持ち主等が管理し、段丘面は農地・宅地・商工業地となっているが、元来より、千郷地域は山と水と肥沃な平地に恵まれた自然豊かな所である。

千郷地域には、遠い昔から人々の暮らしがあり、その遺跡は、雁峰の山麓に沿って、また、豊川右岸に沿って数多く見られる（石器・土器・古墳）。そして、日本の国が統一されてからは、時代とともに統治者の館跡・城跡が地域内のいたるところにあり、行政区画としての村名も記され現在につながっている。地域名である「千郷」は、国の制度が大きく変わった明治の時代に命名されている。最初の村合併では、豊栄・杉山・徳定・片山の各村が西郷（にしごう）村に、石田・野田・稲木・豊島・川田の各村が千秋（ちあき）村となり、さらにその後、西郷村と千秋村が合併して千郷村となった（1906年）。

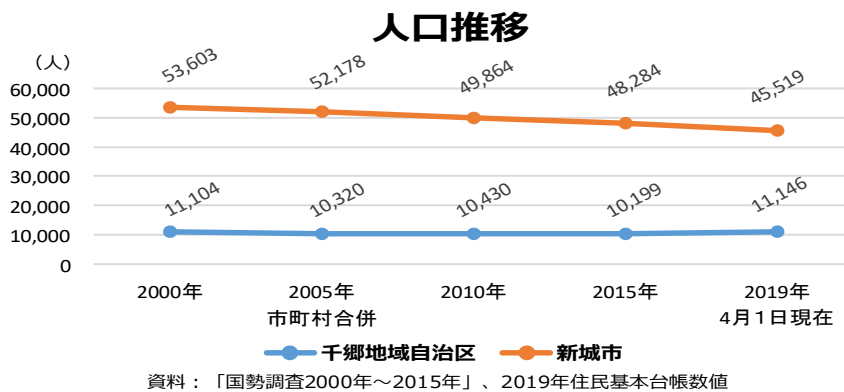
この西郷は平安時代の統治区画「設楽西郷」に由来し、千秋は同じく平安時代の野田郷の統治者「千秋氏」に由来している。また、この頃、国の発展に伴い、伊奈街道（旧151号線）が整備され、鉄道が敷かれた。さらに、千郷地域の変化発展は、戦後の昭和、新城市発足以降に著しく見られる。

昭和30年代後半（1960以降）、現151号線が旧道のバイパスとして敷かれ、それに伴って住宅地と工業地域（横浜ゴム・川田原団地）が造成されて地域の人口増・活性化が図られた。同時に、農地の土地改良や豊川用水が敷かれる等も実施され、農業のようすにも大きな変化が見られた。そして、平成の時代、さらに151号線バイパスと301号線野田大橋造成によって、地域の発展が図られ現在（令和元年）に至っている。

今、千郷地域の人口は2019年4月1日現在で11,146人（住民基本台帳数値）で新城市の人口45,519人の約25%を占め、合併後の新城市の中で唯一人口が増加している最も元気な地域として、新城市全域をけん引する立場にある。その元気を如何に保ち、如何に展開するべきか使命は重い。（「千郷村史」などより）



千郷村史（上・下巻）

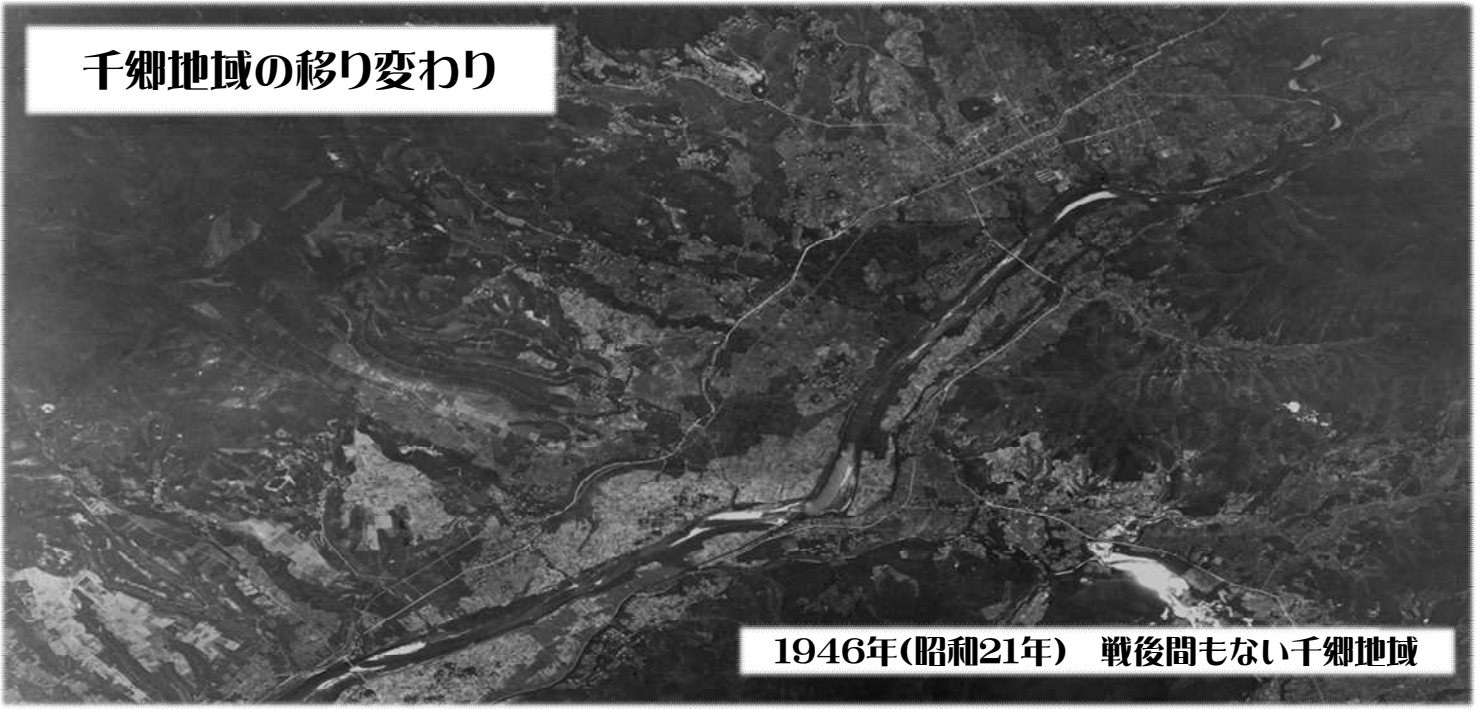


人口推計等

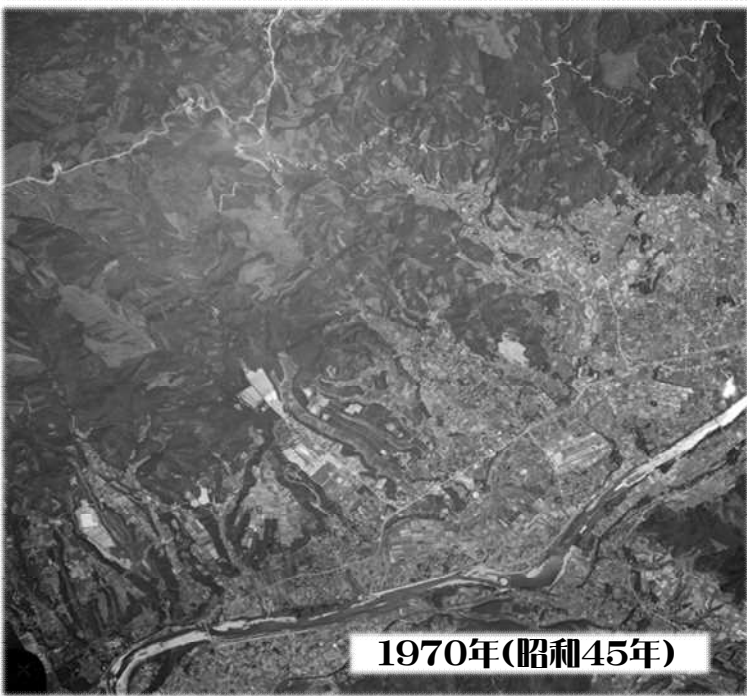
	2000年	2005年	2010年	2015年	2030年	2045年	2060年
千郷地域自治区 (人)	11,104	10,320	10,430	10,199	9,115	7,144	5,368
0-19歳 (人)	2,518	2,136	2,024	1,878	1,415	1,072	751
20-39歳 (人)	2,884	2,540	2,529	2,224	2,009	1,372	1,005
40-59歳 (人)	3,274	3,026	2,736	2,585	2,297	1,794	1,286
60-79歳 (人)	2,084	2,119	2,470	2,685	2,314	1,903	1,486
80歳以上 (人)	344	499	671	827	1,080	1,003	840
高齢化率	17%	19%	22%	27%	31%	34%	36%
後期高齢者率	7%	9%	11%	13%	18%	19%	22%
年少 0-14歳 (人)	1,804	1,571	1,480	1,387	1,029	793	541
生産年齢 15-64歳 (人)	7,450	6,801	6,694	6,066	5,216	3,911	2,884
老年 65歳以上 (人)	1,850	1,948	2,256	2,746	2,870	2,440	1,943
85歳以上(4人に1人が要介護3以上)	146	184	305	419	555	646	532
生産年齢/85歳以上 (人)	51	37	22	14	9	6	5
新城市 (人)	53,603	52,178	49,864	48,284	39,797	31,673	24,195

資料：「国勢調査2000年～2015年」、2030年～新城市人口ビジョン

千郷地域の移り変わり



1946年(昭和21年) 戦後間もない千郷地域



1970年(昭和45年)



1996年(平成8年)



2016年(平成28年)



千郷地域の問題点・要因の整理 (まちづくりの現状と課題)

若者定住



<若い世代の定住意向が低い>

- ★若い世代対策分野では、「若い世代が住み続けたいと思う魅力づくり」が重要との意見が最多数。
- ★今後優先的に取り組むことの第1位は、若者定住に関する取組(自由意見も多い)。

<職探しに不安を感じている>

- ◆若い人が思うような仕事に就けない。◆若者に魅力ある職場がない。
- ★若い世代(18~29歳)では、「就職・職探し」が最大の困り事・心配事。

<住宅地として選択されない>

- ◆家を建てるのが難しい(家を建てる土地が少ない、土地が高い。若い人が買えない。)。◆市街化区域の見直しが必要では。◆豊川・豊橋方面に通動しにくい(市街化区域なのにバス通学。151バイパスが直通していない)。◆住宅地内に駐車スペースが確保できない(路上駐車が非常に多い)。◆市街地であっても側溝が整備されていない。

<地域のつきあいを敬遠する>

- ◆若い人は地域のつきあいを敬遠するため、定住が少ない。★若い世代や子育て世代は地域活動が負担。

防犯・防災

<犯罪発生への不安・恐れがある>

- ◇防犯灯が少ない(夜道が暗く危険)。★防犯・防災分野では、「防犯灯の整備」が重要との意見が最多数。
- ◇不審者情報の増加(子ども・親、女性を中心に不安/ただし防犯灯設置にも限界がある)。
- ◇青パト隊メンバーが集まらない(燃料代等の費用負担軽減など改善はしているが...)

<資機材の調達、備蓄が不足>

- ◇自主防災会の資機材、備蓄が不足(調達・備蓄が進まない。各地区バラバラで調達するので融通が利かない)。
- ◇避難所(小中学校)に防災備蓄庫がない。(中学校に防災用品はある。)
- ◆水防倉庫は豊島にある。
- ◇防災資機材の管理が不十分なところもある。

<一人ひとりの防災意識が低い>

- ◇防災訓練参加者が限定的。◇若者の防災意識が低い(小・中学校では被災地との交流を通じて学習している)。
- ◆帰宅困難の問題もある。帰れない、帰って来れない(高校生は被災したときどのようにして自宅に戻るのか?)。
- ◇個人での備蓄が進んでいない(3日分の食料と水を備蓄してほしい)。◆過去の災害経験(七夕豪雨等)を知らない。

<要援護者の避難どうする?>

- ◇要援護者の避難方法が徹底されていない(わからない)。
- ◆区長と民生委員が要避難者の台帳を持つが、どう活用すべきか?(台帳の更新も課題)。

<防災訓練のあり方が固定的>

- ◇防災訓練の内容固定化(他地区の情報不足)。★防災訓練のあり方、避難場所など見直しが必要では?

<消防団員加入者の減少>

- ◇消防団員のなり手がいない。

高齢者

<買い物難民が増えている>

- ◆高齢化は進行する。高齢者が増える。◇買い物難民が増加している(車がないと)。
- ★高齢者施策分野では、「交通手段の確保」が重要との意見が最多数。
- ★通院、買い物に苦労している(将来を不安に感じている)。

<高齢世帯が不安を感じている>

- ◇独居高齢者、高齢夫婦世帯が増加し、将来の生活を不安に感じている。★「家族の病気・介護」を困り事・心配事ととらえている割合は高い。★地域のコミュニケーションの希薄化も不安要因に(地域の支えあいに余り期待できない)。★高齢者の健康維持、認知症予防対策が必要。◇自宅の敷地、樹木が管理できない。
- ◇高齢で区のお役や組の付き合いができない。◇高齢者の健康不安。ひきこもりが問題に。
- ◇高齢者を狙った詐欺被害も心配。◇要介護者の増加に伴う体制も不安。

<老人クラブ加入者の減少>

- ◇活動が停滞気味になっている。◇連合会行事が負担になっている。

<高齢者の生きがい不足>

- ◇生きがいを得られずに暮らしている高齢者が増えている。

<バリアフリー化の遅れ>

- ◇身体機能の低下により、施設利用が困難になっている(公民館の2階に上がれない等)。



《凡例》

- ◇ 地域自治区予算計画検討から抽出した問題点
- ★ 地域へのアンケート調査から抽出した問題点
- ◆ 問題点・要因カード(地域協議会地域計画策定分科会での追加意見)

子育て

<子どもの遊び場がない>

- ◇子どもが安心して遊べる場がない。◇屋外で遊ぶ広い場所がない。◇プレーパークを行う場所がない。
- ◇地域に子どもがいない。外で遊ばない。◇ボール遊びができない。公園遊具の不足(設置費用、維持管理費用が課題)。

<子育て世代の交流の場がない>

- ◇就学前の子育て世代が集まる機会、情報交換する機会がない。◇子育て情報が行き渡らない。

<こども園の駐車場が足りない>

- ◇千郷東こども園の駐車場が不足している。

青少年

<中高生が遊べる場がない>

- ★中高生などの若者が集まる場がない。(若者向けのお店、遊べる場(運動できる公園など))



ゴミ

<ゴミ出しマナー守ってくれない>

- ◇ゴミの出し方のルールを守ってくれない方がいる。★ゴミ出しルールの徹底が必要。

<ゴミの不法投棄がなくなる>

- ◇県道豊川新城線などで、ゴミの不法投棄が見受けられる(臼子の上がひどい)。

生活環境

<雑草・樹木の管理ができていない>

- ◇市道等の草が伸びて景観上良くない。★通学路の歩道に雑草が繁茂し危険。
- ◇空き家・空き地が増加。雑草・樹木の管理が行き届いていないところが増えている。
- ★環境美化分野では、「遊休地・空き地の雑草対策」が重要との意見が最多数。

自然・農地

<山林・農地が荒廃、手入れ不足>

- ◇手入れ不足で山林崩落(災害)の危険あり。◇耕作放棄地が増加している。
- ★農業後継者がいない。耕作放棄地は増える。◇サル等による農作物被害の増加。

<豊かな自然環境守れない>

- ★地域の最大の魅力は「豊かな自然・田園環境」と回答。◆最大の魅力と言うけれど脅かされている。
- ◇千郷地域に生息する稀少生物について、保全のための対策が講じられていない。

交通安全

<道路が狭い、危ない>

- ◇道路が狭い。交通事故の危険性あり。★交通量が増えた。抜け道になっている。★中高生の半数近くは「ヒヤリ・ハット体験(危ないと思った経験)」があると回答。◇高齢者ドライバーが増加している。

住民自治

<新旧住民の相互理解が不足>

- ◆新旧住民の交流、相互理解が必要。新興住宅地と従前からの交流が難しい。壁がある。

<住民相互の交流が足りない>

- ◆高齢者と子どもが交流する場がほしい。
- ★人が交流する場を多くすることが大事との意見あり。その一方で、地域の行事・出役が多いとの意見も多い。

<外国人の方との間でトラブル>

- ◇外国人の方との間でトラブルが起こる(BBQによる騒音、煙・臭いなど)。

<自治会組織の脆弱化>

- ◇自治会未加入者が増加している。◇地域役員のなり手がいない。

都市機能

<総合病院がない>

- ◆安心して診てもらえる病院が少ないため、不安が広がっている。★「地域医療」の現状に対する満足度は低い。
- ★「病院や診療施設などの充実」は定住対策上重要と判断している。

<中心市街地の満足度が低い。>

- ★公共サービスに対する満足度では、「便利な市街地・中心街の整備」が最も満足度が低い。
- ★お店が少ない、大型スーパーの誘致をという意見あり。★野田城駅前の交通混雑解消。駅前整備を。◆野田城駅待合室の整備が必要。

歴史・伝統・文化

<歴史・文化の伝承ができない>

- ◇千郷の歴史を語れる人がいない。★中高生は「歴史の宝庫」が千郷の魅力と回答。◆中学校では「千郷の歴史」をテーマに学習。◇祭礼や神楽、地芝居などの文化継承が難しくなっている(若い人がいない)。

2 千郷地域のめざす姿

思いやりと健康で 暮らしやすいまち 千郷



を目指します！

まちづくりアンケート

「10年先優先的に取り組む必要性がある順位」

- 1位 若者定住に関する取組み
- 2位 防犯防災に関する取組み
- 3位 高齢者支援・生きがいづくりに関する取組み
- 4位 子育て支援に関する取組み
- 5位 買い物支援に関する取組み
- 6位 道路・林道・河川に関する取組み
- 7位 子どもの遊び場を増やす取組み
- 8位 環境美化に関する取組み
- 9位 バスなどを増やす取組み
- 10位 交通安全推進に関する取組み

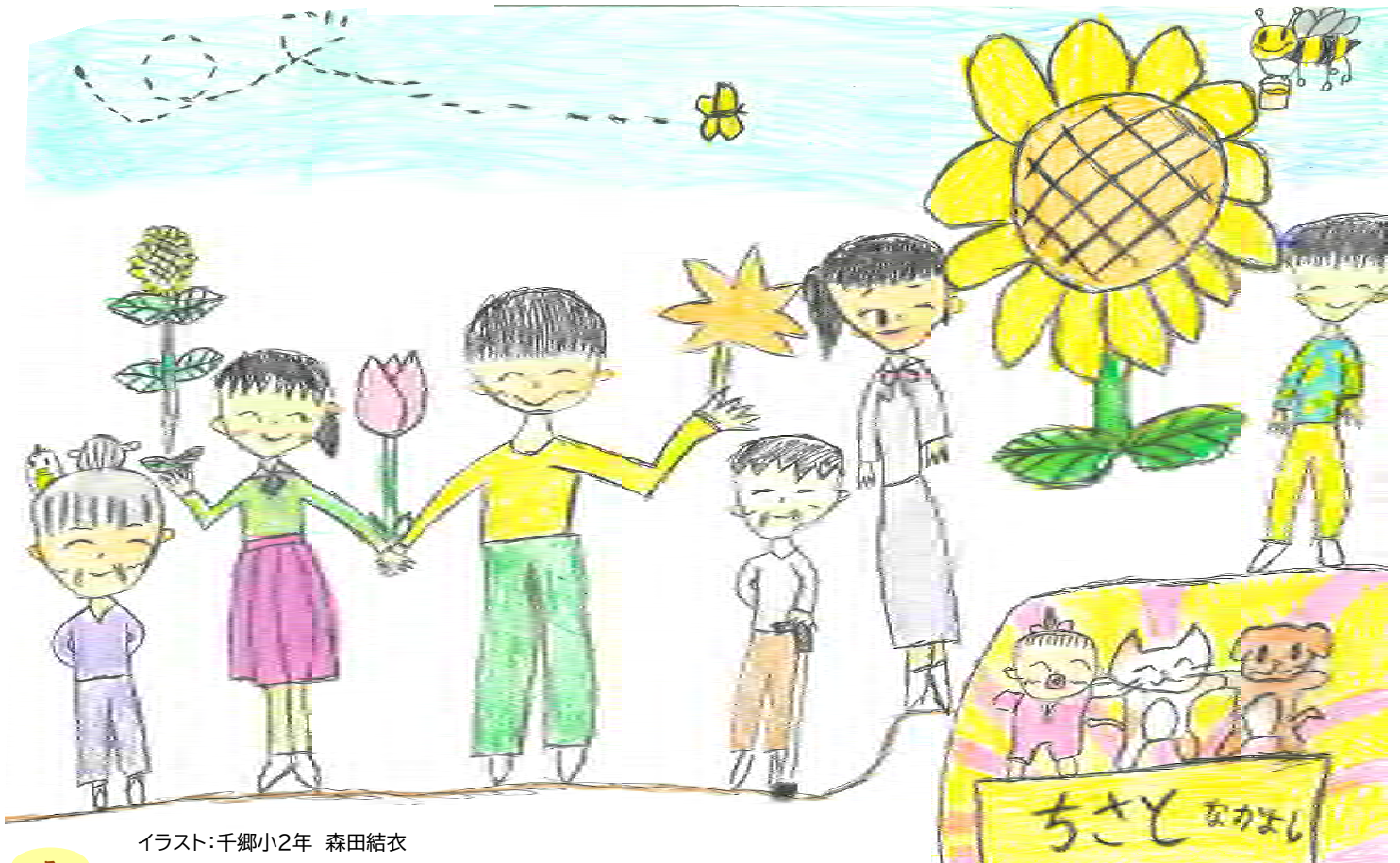


イラスト:千郷小2年 森田結衣

3 めざす姿を実現するための取組み

目標1

若者に魅力あるまち



イラスト:千郷小5年 山本一輝

- 若者定住:若い世代が住みたいと思う魅力づくり
／若者に魅力ある職場・雇用の創出／魅力ある住宅地の提供／負担とならない地域活動
- 子育て:子どもの遊び場づくり／子育て世代の交流の場づくり／こども園の駐車場整備
- 青少年:ユース世代(中高生世代)の遊びと集う場づくり

目標2

安心して暮らせるまち



イラスト:千郷西こども園 山崎陽詩

- 防災:防災資機材、備蓄の充実／住民の防災意識向上
／要援護者の避難方法の確立／防災訓練の見直し／消防団員の確保
- 防犯:防犯対策の充実
- 交通安全:交通安全対策の充実
- 都市機能:病院や診療施設などの充実／便利な市街地・中心街の整備

目標3

きれいなまち



イラスト:千郷西こども園 山崎陽詩

- ごみ:ごみ出しマナーの徹底／ごみの不法投棄の防止
- 生活環境:雑草・樹木の管理(遊休地・空き地の雑草対策など)
- 自然・農地:山林・農地の荒廃防止／豊かな自然・田園環境の保全

目標4

高齢者が暮らしやすいまち



- 健康促進:健康維持活動の推進
- 見守り体制:高齢者の困り事・心配事の解消(地域でできる支えあい)
- いきがいづくり:老人クラブの活動見直し／高齢者のいきがいづくり
- 施設整備:バリアフリー等の施設整備の推進

目標5

歴史・伝統文化に誇りを持てるまち



- 保存・伝承:歴史・伝統文化の保存と伝承
- 整備:地域歴史遺産・伝統文化等に関する保全整備
- 情報発信:地域内外への情報発信の充実／歴史・伝統文化の伝承

目標6

思いやりと助け合いができるまち



- 住民交流:住民間の交流促進、相互理解／多文化共生の推進
- 地域交通:地域交通の充実・強化
- 見守り:社会的弱者等への見守り体制の推進
- 住民自治:自治会組織の充実・強化

目標1

若者に魅力あるまち



- ★若者定住 若い世代が住み続けたいと思う魅力づくり／若者に魅力ある職場・雇用の創出／魅力ある住宅地の提供／負担とならない地域活動
- ★子育て 子どもの遊び場づくり／子育て世代の交流の場づくり／子ども園の駐車場整備
- ★青少年 ユース世代(中高生世代)の遊びと集う場づくり

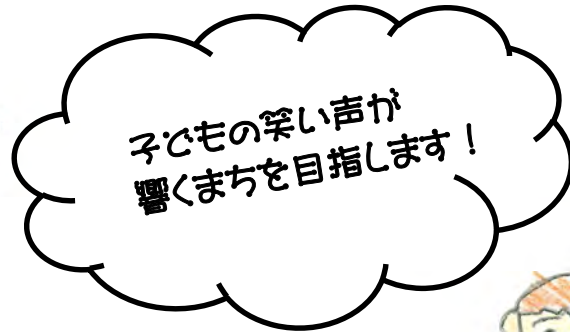


イラスト:千郷小2年 竹下花那

継続

★現在、実施している活動 ~今後も継続していきます!~



- ① 千郷地域子育て連絡協議会による「プレーパーク」の開催
- ② 千郷地区体育振興会による各種スポーツイベント等の開催
- ③ 健康の道を利用した「ウォークラリー」の開催
- ④ 地域資源(歴史・文化)を語り伝える
- ⑤ こども園保護者会及び母の会活動支援(地域活動交付金支援)



子育て



プレーパーク開催事業

●子ども達の自主性や社会性などを育成し、地域と子どもの顔が見える関係づくり構築を目的とした企画・事業実施を行います!!



子育て

児童クラブ支援 ボランティア制度の確立

●放課後児童クラブを利用する児童を対象に、地域の方の得意分野(例:将棋や囲碁、編み物)を教えて頂ける仕組みを確立します!



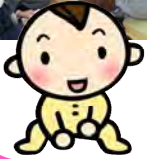
今後

★これからはこんな活動をすすめていきます!

子育て



子育て支援センターの設立



- 子育てに関する悩み、また相談事など安心して子育てができる地域環境を目指し地域内にそうした支援センターの設立を検討します。
- 同時に産後ケアの充実を図ります。

子育て

遊び場・交流の場づくり

- 子ども達が元気よく、のびのびと遊べる広場を地域内に確保するため、場所の選定や整備について検討を行います。
- 併せて、地域の遊び場MAPの製作にも着手し地域の交流の場として周知を図ります。



若者定住

企業と地域との交流促進

- 地域と企業の交流
・夏祭り・盆踊り・文化祭などの交流イベントの企画検討や開催、あわせて参加促進による交流の活性化を図ります。
- 「Iターン」・「Jターン」・「Uターン」につながる千郷地域企業展の開催を検討します。

総合

各地区のイベント等の積極的な周知活動

- 千郷地域内における各地区で開催されるイベント等の情報をHPやブログなどのSNSの活用や、また必要に応じてフリーペーパーの作成を行い積極的な周知活動を行います。

青少年

千郷地域内企業見学の開催

- 千郷地域内における各企業と協力し、地元企業見学会を企画開催します。
このため、各種関係機関や地域の方々で組織する実行委員会を立ち上げ、企画から定期的な開催実施が図られる仕組みを構築します。



青少年



若者が活躍し楽しむイベントの開催

- 地域の若者の活躍の場を提供するため、イベント等の開催に伴う実行委員会を設立するため、地域の方をはじめ若者達の有志を募り地域の若者が楽しめるイベントを開催します。



若者定住

若者の定住促進

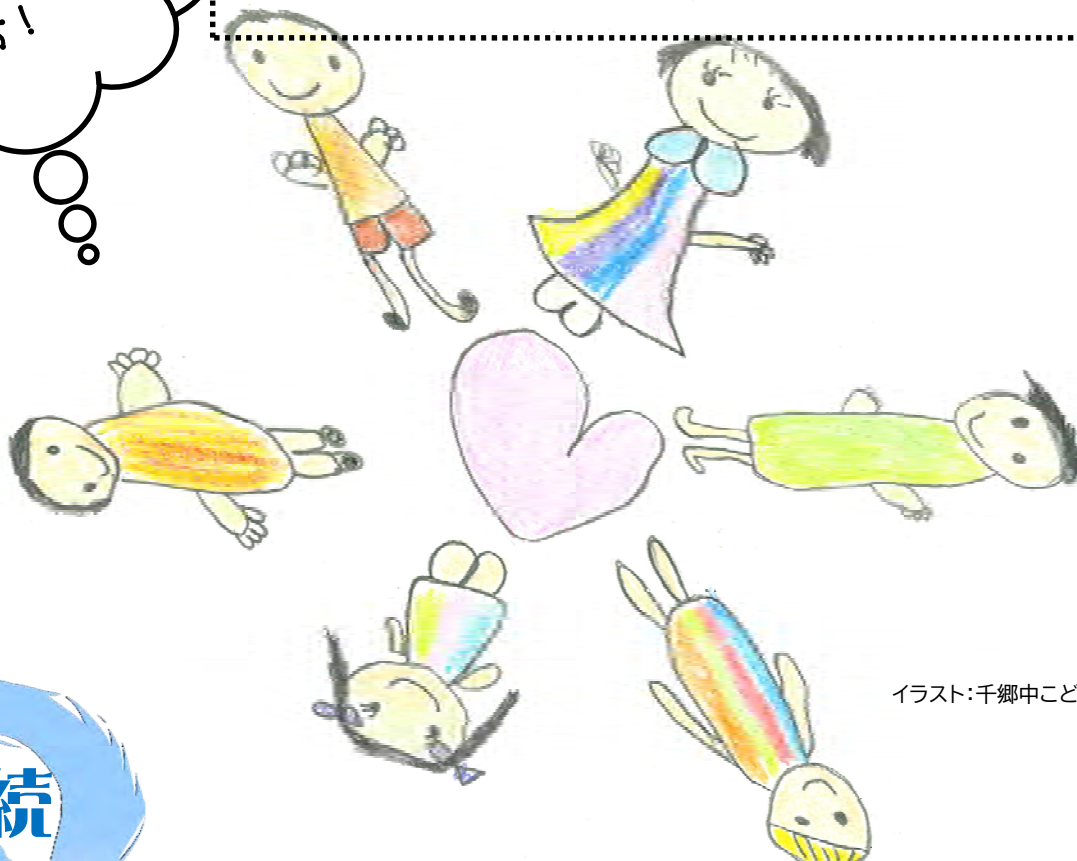
- 千郷地域でいつまでも暮らしたい、また千郷地域に帰って来たいと思える若者に魅力ある住環境について、用地やその他の環境等について、地域や行政の協力のもと有効な土地利用の方法等の検討を進め、若者に対しきめ細やかな情報提供を図ります。

目標2

安心して暮らせるまち

- ★防 災 防災資機材、備蓄の充実／住民の防災意識向上／要援護者の避難方法の確立／防災訓練の見直し／消防団員の確保
- ★防 犯 防犯対策の充実
- ★交通安全 交通安全対策の充実
- ★都市機能 病院や診療施設などの充実／便利な市街地・中心街の整備

健康で明るく過ごせるまち
を目指します！



イラスト：千郷中こども園 宮本芽衣

継続

★現在、実施している活動 ～今後も継続していきます！～

- ① 千郷地域防災連絡会による、地域全体の防災対策伴う仕組み検討
- ② 千郷青パト隊による防犯パトロールや児童の登下校時等の見守り
- ③ 消防団による有事の際の出動、防火PR、水利点検等
- ④ 千郷地区民生委員児童委員協議会による支援活動や奉仕活動
- ⑤ 各行政区による自主防災会による訓練
- ⑥ 千郷地区交通安全推進協会による交通立ち番や交通安全講習会の実施
- ⑦ 炊き出し、AED講習、ホットタオル（新城市赤十字奉仕団）



千郷中学校芸術部による
消防団詰所への
「シャッターアート」

防災

重要

ちさと防災フェスタの開催

●地域の防災意識向上を図るため、千郷地区防災連絡会を中心に、防災に関するイベント等の企画・実施を行います。



防災

自主防災会の活動支援

●各地区における防災会の活動に対し支援を継続的に実施します。



防災

AED講習会開催等

- 千郷地域の拠点施設に自動体外式除細動器(AED)が整備されたことにより、有事の際により多くの方が使用方法を理解し迅速に対応出来るよう講習会を定期的に開催し、地域住民の安心・安全を図ります。
- 併せてAEDマップ作成を進めます。



防犯・交通安全

子どもの見守りの継続・強化



- 防犯灯を整備し、明るい街づくりを目指します。
- 小中学校の登下校時における子どもの見守りを今後も継続すると同時に強化することを検討します。
- 子ども110番の家の推進を図ります。



今後

★これからは
こんな活動をすすめていきます!



都市機能

重要



都市機能の充実に向けた提案や要望

- 千郷地域協議会を中心に、地域住民が望む土地利用や施設等を把握・整理し、行政や各種関係機関等に提案や要望を積極的に行います。

防災

防災マップの作成及び地域防災連絡網の整備



- 地域防災力の強化を図るため、千郷地区防災連絡会を中心に、地域住民が安全に暮らせるための防災マップを作ります。
- 併せて、有事の際地域全体また、関係機関等の連携を図れるよう連絡網の整備を進めます。



防犯

犯罪被害防止の強化

- 空き巣や電話(携帯電話含む)・チラシ・ハガキ・メールなどの多様化する犯罪による被害を地域から出さない取組を実施します。



防災

重要

防災訓練の実施・避難所・防災倉庫の設置

- 千郷地区防災連絡会を中心に、防災倉庫について千郷東・中・西地区にそれぞれ設置場所の検討を含む整備を検討していきます。
- 防災訓練
- 避難所設営・運営など



防災・防犯

空き家・放棄地の解消

- 千郷地域内に点在する空き家や放棄地などを把握し解消に向けた取組みや仕組みの検討を地域の方また行政と協力し少しでもこうしたものがない地域を目指します。

目標3

きれいなまち

- ★ごみ ごみ出しマナーの徹底／ごみの不法投棄の防止
- ★生活環境 雑草・樹木の管理（遊休地・空き地の雑草対策など）
- ★自然・農地 山林・農地の荒廃防止／豊かな自然・田園環境の保全



いつも美しい
豊かな里山づくり
を目指します！



イラスト:千郷小5年 山本一輝

「春も」、「夏も」、「秋も」、「冬も」、自然豊かな千郷の里！！

継続



イラスト:千郷小4年 竹下梨緒那

★現在、実施している活動 ～今後も継続していきます！～

- ① 各地区への可燃ゴミステーション設置に対する補助事業
- ② 地域草刈り保全隊などによる環境保全活動
- ③ 活用していない遊休地や竹林等を公園に利用できる活動を実施
- ④ クリーン作戦の実施
- ⑤ 野田川上流の遊べる水辺の活動



ごみ・生活環境

重要



ごみ

●「きれいなまち」であり続けるため、可燃ごみ集積所におけるごみの散乱などを防止し、「環境美化の推進」及び「公衆衛生の向上」を図るため、各地区が設置を実施する整備費の一部を補助します。

可燃ごみ集積所整備費補助事業



可燃ごみ集積施設整備費補助金

ごみの不法投棄防止につながる取組みの実施

●青パト隊を中心に定期的な巡回を実施するほか、不法投棄防止につながる取組みについて事業化の検討を進め実施して行きます。



今後

★これからはこんな活動をすすめていきます!



生活環境



地域の環境美化活動の推進

- 花づくりの愛好家やボランティア、さらにこうした活動に賛同し協力いただける地域の団体や個人を募り、プランター設置など地域美化活動に積極的に取り組みます。
- また、環境美化活動としての花などの生育管理と同時に、子どもたちの登下校時の見守りにつなげるため「通学路花街道(仮称)」づくりを進め、子どもたちの登下校時の安全確保につなげます。



自然・農地



野田川沿線等整備事業



- 一例として豊川から野田川上流までのウォーキングやサイクリングなどのコースとしての聖地を目指し、美しい景観として信玄の桜並木(仮称)づくりを市と協力して目指します。
- そうすることによって、地域内の方による様々な利活用が出来るほか、地域の方のみならず、地域外からの集客につなげ地域の活性化を図ります。



生活環境

Welcomeボード等の設置

- 市と協力し、新城の表玄関、国道151号バイパスに「ようこそ新城へ」の看板や幕を製作設置し、四季の花で迎えます。(川田跨道橋(高架橋)への設置)



自然・農地

景観・農地維持活動の実施



- 千郷地域のきれいな景観を守るため、各行政区に組織する環境保全会、または、これに代わる組織によって、休耕農地の草刈りや河川・道路などの法面の草刈り作業を今後も継続的に実施していきます。
- 鳥獣による農地や農作物等の被害軽減を図る対策を各種関係機関や関係団体等に協力を求め検討・実施し、地域内に荒廃地を増やさず千郷地域の美しい農村環境を維持して行きます。

ごみ

クリーン作戦の実施

- 千郷地域住民による毎年1回の一斉清掃活動として、区長会や体育振興会など地域の各団体や組織などと連携のもと「ちさとクリーン作戦」を企画し、清掃場所や開催方法、時期などの検討をすすめ、今後、定期開催ができる仕組みを作ります。





暮らしやすいまち

声のかけ合い
助け合い

- ★健康促進 健康維持活動の推進
- ★見守り体制 高齢者の困り事・心配事の解消（地域でできる支えあい）
- ★いきがづくり 老人クラブの活動見直し／高齢者のいきがづくり
- ★施設整備 バリアフリー等の施設整備の推進



いつでも相談
できる友だちづくり

イラスト：千郷西こども園 久保莉緒

継続

★現在、実施している活動 ～今後も継続していきます！～

- ① 老人クラブによる健康維持増進及びコミュニケーション活性化等のためグラウンドゴルフ大会
- ② 公民館等で開催されるミニデイサービス・健康体操の実施
- ③ 拠点施設（公民館）活動が活発するために、トイレの改修や机、椅子の導入
- ④ 世代間交流の実施

いきがづくり

世代間交流の促進

●小学校主催による各行政区により開催される「ふれあい教室」や、千郷地域子育て連絡協議会主催により開催される「プレーパーク」などの地域の子も達が参加するイベントへ、高齢者も積極的に参加することを促すため、高齢者でも開催情報などが常にわかるような仕組みを構築し、千郷地域住民の世代間交流が活発化する取組みを進めます。

施設整備

拠点施設のバリアフリー化

●玄関、トイレ、階段等について、高齢者の負担軽減と安全な利用ができるように拠点施設（公民館など）の整備を進めます。





高齢者の健康促進

●高齢者がいつまでも元気で明るく暮らせるような以下のような様々な活動や企画等を促進します。

- ミニデイサービス
- グラウンドゴルフ
- 健康体操
- 健康寿命の増進を図るための施策の検討(例:ウォーキングコースなどの整備等)

※上記のような健康促進が図られる活動に対する更なる充実を図ります。



今後

★これからはこんな活動をすすめていきます!



見守り体制



重要



買い物支援

●千郷地域在住の高齢者が生活物資等の買い物難民とならぬよう支援体制を検討し事業実施に取り組みます。



いきがづくり

高齢者の活動内容等を紹介する取組み



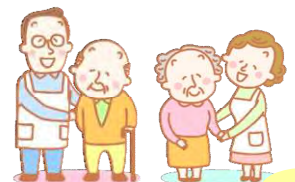
●千郷地域内における、高齢者による様々な活動を定期的に紹介する仕組みを構築し、これに伴う以下の項目において積極的に実施します。

- 地域協議会の中で情報収集
- 各種団体への情報収集や資料提供
- 他地区の情報収集
- 回覧板等やチラシ作成、また、地域協議会だよりでの情報発信

見守り体制

高齢者の見守り体制の充実

●高齢者の安否確認や困りごと、また災害時における高齢者の現在の暮らしぶりの把握等を行うため、地域での高齢者宅への定期的な訪問を民生委員などに相談及び協力し実施する仕組みを検討します。



目標5

歴史・伝統文化に 暮誇りを持てるまち



- ★保存・伝承 歴史・伝統文化の保存と伝承
- ★整備 地域歴史遺産・伝統文化等に関する保全整備
- ★情報発信 地域内外への情報発信の充実

過去から未来へ！
文化の伝承を次世代へ！



イラスト:千郷小3年 渡邊 豪

継続

★現在、実施している活動 ~今後も継続していきます!~

- ① 地芝居(歌舞伎)保存会による親子歌舞伎教室(山・臼子歌舞伎保存会)
- ② 手筒花火(千郷神社・八幡神社)
- ③ 神楽(貴船神社・竹生神社)

保存・伝承

無形文化財の保存継承

●千郷地域内における様々な伝統芸能・文化や、無形文化財の保存継承につながる取組みを応援します。



今後

★これからはこんな活動をすすめていきます!



情報発信



情報マップの作成



●千郷地区の自然、歴史遺産、有形・無形の文化財の紹介や情報発信を積極的に行うため、地域内のそれぞれ分野によって詳しい方々の協力を募り、マップ製作を実施し、地域内外に対し地域の魅力を伝えるほか、地域での各種イベント(例:住民歩こう大会)や教材としてなど有効に活用する取組みを進めます。

保存

歴史遺跡の保存

●城跡、古墳、寺跡など地域の方へボランティア作業の参加者を募り、定期的な清掃作業等の実施を行います。

●また、地域の歴史遺跡を良好な保存ができる仕組みの検討を進めます。



整備



歴史遺跡の整備

●市内外の方に対し千郷地域内にある文化財等の積極的なPRを行うため、千郷地区住民による有志

を募り、城跡、古墳、寺跡などの由来や説明等を記した看板の製作及び設置の実施を検討します。

●同時に地域の重要史跡(例:野田城跡等)をJR野田城駅等で紹介する取組みなどを検討します。



情報発信

自然・歴史・伝統文化の独自カレンダー製作

●千郷地域内における自然(四季折々)、城跡、古墳、寺跡などの「絶景」や「おすすめポイント」を地域の方から写真や画像等の提供を求め、これを紹介し掲載した千郷地域独自のカレンダーを製作し拠点施設等への掲示と利用を推奨し地域の魅力発信を進めます。



イラスト:千郷小4年 竹下梨緒那

情報発信

お祭り行事の情報発信

●千郷地域内で開催されているお祭り行事を地域内の方へ紹介するため、協議会だよりをはじめ、チラシ等を作成し各行政区ごとに回覧をするほか、地域外に対してもSNSやケーブルテレビなど多様な情報媒体を活用し千郷地域の魅力を伝えるため積極的な情報発信を



目標6

思いやりと

助け合いができるまち

困ったら
助けてほしい



- ★住民交流 住民間の交流促進、相互理解／多文化共生の推進
- ★地域交通 地域交通の充実・強化
- ★見守り 社会的弱者等への見守り体制の推進
- ★住民自治 自治会組織の充実・強化

イラスト:千郷東こども園 竹下蓮那



困っていたら
助けたい

継続

★現在、実施している活動 ~今後も継続していきます!~

- ①安全パトロールで子どもの見守り実施
- ②公民館祭り、盆踊り、ふれあい祭り開催による世代間交流の実施
- ③歩こう大会、グラウンド大会、ソフトバレーボール大会等の各種イベント開催
- ④青パト隊による防犯パトロールの実施
- ⑤各行政区や自治会などによる交通立番の実施



住民自治

自治会を支援

- 各自治会の実施する取組みについて積極的に支援します。



拠点(公民館等)整備の推進

- 拠点による地域活動等の活発化を図るため、地域の拠点施設整備を支援します。
- H28~29年度において「木製ベンチ」が設置希望公民館に貸与されました。
- H26~H30年度において、公民館室内用テーブル及びイスの整備費に補助金を交付し各地区整備が完了しました。



今後

★これからは
こんな活動をすすめていきます!



地域交通



重要



地域の足の確保のための積極的な事業推進

●千郷地域の地域の足を確保するため、区長会を中心に構成員とした「プロジェクトチーム」などの組織を発足し、現状の把握と地域のニーズにあった理想的な地域公共交通網をつくるため、既存の公共交通も含め、新たな仕組みなどの検討を進めます。

●また、あわせて発足した組織を中心に、Sバスの利便性が向上するよう、以下の項目について改善が図られるよう検討します。

- 停留所の見直しや増減
- 発車時刻等の見直し
- 運賃の見直し(支援の検討も含む)
- 乗車チケットの販売場所
- 地域交通の新たな仕組み など・・・

●運営する市に対し提案や見直し等を求めて行きます。



見守り

重要

地域思いやり事業の実施①

●地域の困った人を支援するため、地域の方どおしで助け合いが出来る、「ちさと手助けカード(仮称)」を発行し、地域住民の課題解決を図る仕組みづくりを進めます。



見守り

重要

住民相互の見守り体制の充実



●本地域協議会において安全・安心カードの検討及び製作を進める(例:世帯カード)。

●各行政区の組などの活動に対して支援することを検討し、組内などの「向こう三軒両隣」の交流促進が図れる取組みを援助します。

見守り

重要

地域思いやり事業の実施②

●拠点施設(公民館等)や可燃ゴミ集積所など、多くの方の目に触れる場所を選定し、「外国語表記の案内板や一目みて判断できる表示マークの設置」を実施し安心して暮らせるよう事業推進を図ります。



住民交流



世代間交流の推進

●各地域等で開催される世代間交流につながる催し等に対し支援し、同時に地域の方や千郷地域の各種団体、また行政と協力し住民交流が図られる事業の企画・実施を検討します。



4 地域計画策定の経過

★千郷地域自治区の地域計画策定にあたり、平成29年8月に地域計画策定分科会を置き定期的な分科会の開催や「まちづくりアンケート」、「地域活動団体へのアンケートやヒヤリング」を実施し、地域の現状を把握するところから始めました。

地域計画策定分科会

第 1 回	平成29年	8 月	9 日	住民アンケート設問の検討
第 2 回		9 月	27 日	住民アンケート案の作成
第 3 回		11 月	1 日	活動団体アンケートの検討
第 4 回		11 月	29 日	活動団体アンケート案の作成
第 5 回	平成30年	1 月	17 日	千郷地域の課題整理作業
第 6 回		2 月	14 日	地域課題の深掘り作業
第 7 回		2 月	28 日	地域の目指す将来像の検討
第 8 回		5 月	23 日	計画策定方針及びスケジュール検討
第 9 回		6 月	20 日	リーフレット・ポスター・冊子の具体的な策定案の検討
第 10 回		7 月	4 日	千郷中学校芸術部への具体的デザイン依頼案の検討
第 11 回		8 月	22 日	冊子記載内容・リーフレットコメント検討
第 12 回		9 月	5 日	リーフレット・ポスターの策定内容及びデザイン案の検討
第 13 回		10 月	17 日	現在地域で実施している活動の整理作業
第 14 回		11 月	7 日	地域課題解決に向けた具体的な事業提案や取り組み内容の検討
第 15 回		12 月	5 日	リーフレット・ポスターの策定案の確認、修正作業
第 16 回	平成31年	1 月	9 日	地域課題解決に向けた具体的な事業提案や取り組み内容の検討
第 17 回		2 月	6 日	リーフレット・ポスターの完成版最終確認作業・次年度申し送り内容整理
第 18 回	令和元年	5 月	8 日	地域計画策定に係る申送りの確認及び進捗状況確認
第 19 回		5 月	29 日	地域課題解決に向けた取組方針等内容の検討
第 20 回		6 月	5 日	計画冊子に記載すべき具体的な検討
第 21 回		7 月	3 日	計画冊子記載内容の前回反映部分の確認及び提案・検討
第 22 回		7 月	31 日	計画冊子記載内容の前回反映部分の確認及び提案・検討
第 23 回		8 月	21 日	計画冊子記載内容の前回反映部分の確認及び提案・検討
第 24 回		9 月	11 日	地域計画冊子の地域協議会への上程案最終確認作業



※令和元年9月18日（水）開催 第7回千郷地域協議会の場において分科会上程計画案について承認。

（参考）：住民アンケートの実施状況

種 別	対象者	配布数	回収数	有効回答率
① 一般向けアンケート	18歳以上	2,720	975	35.7%
② 中学生以上用 アンケート	(1) 中学生	216	210	97.2%
	(2) 15歳～17歳	280	77	27.5%

5 地域計画の推進体制

□ 進管理

- (1) 計画を着実に推進するため、具体的な事業実施計画（行動計画）を作成します。
- (2) 数値目標等を設定し、「P D C A サイクル」により事業実施状況の点検・検証・評価・見直しなどを行います。
 <PDCAサイクルとは>
 Plan（計画策定・実施方針・目標設定）、Do（実行）、Check（点検・評価）、Action（改善・見直し）の頭文字をとったものです。事業の評価にあたって、計画から見直しまでを一環として行い、さらにそれを次の計画・事業に生かそうという手法です。
 PlanDoCheckActionという一連の周期的な流れを行っていくことから、『P D C A サイクル』と称しています。
- (3) 計画の推進にあたっては、本計画の策定に携わった「千郷地域協議会地域計画策定分科会」において、地域課題解決に向けての事業検討や事業提案を行い、事業の具体化・実施を図ります。
- (4) 計画の進捗状況の確認は、地域の幅広い人材による「計画推進委員会（仮）」を設置し、事業の成果・点検・評価を行い、千郷地域協議会へ意見を伝えます。

6 組織構成

□千郷地域協議会



【平成29年度】

＜地域協議会委員＞

★鈴木誠 ◎老平千昌 ○杉下尚由 ○仲井敬太郎 藤平昇 竹下正裕 城所寛康 安形典久 今泉保和 筒井省吾 辻井洋行 伊藤三郎 岡田晴秋 藤原正兵 西郷善蔵 西野雄次 近藤武 竹下有 中村有美子 古瀬剛 山本松宏 中尾知久 西妻正好 鶴井良久 河邊綾子 山本紀子 滝川健一 今泉亮司 竹下隆康 加藤重行 [30名]

（地域計画策定分科会）

☆老平千昌 滝川健一 今泉亮司 竹下隆康 加藤重行 杉下尚由 仲井敬太郎 鈴木誠 河邊綾子 山本紀子 山本松宏 中尾知久 西妻正好 鶴井良久 [14名]

【平成30年度】

＜地域協議会委員＞

★山本松宏 ◎鶴井良久 ○中尾知久 ○西妻正好 古本喜之 今泉隆男 竹下松太郎 老平悦朗 物部恭喜 鈴木勝吉 岩瀬功 大木英男 村田憲治 市川博三 丸山正雄 西野雄次 近藤武 宮原麻衣子 森野真智子 岡山薫 長瀬三平 御宿三男 田嶋正吾 中野克俊 玉井悦子 鈴木ゆみ子 鈴木誠 老平千昌 杉下尚由 仲井敬太郎 [30名]

（地域計画策定分科会）

☆鶴井良久 山本松宏 中尾知久 西妻正好 長瀬三平 御宿三男 田嶋正吾 中野克俊 玉井悦子 鈴木ゆみ子 鈴木誠 老平千昌 杉下尚由 仲井敬太郎 [14名]

【令和元年度】

＜地域協議会委員＞

★荏原徹 ◎中野克俊 ○長瀬三平 ○鳥居重幸 小林光治 今泉義徳 萩平博之 奥平俊 小林保洋 中尾文彦 渡邊力夫 伊藤五十人 藤田光利 小山嘉之 山本忠史 近藤武 渡邊万奈未 平井幸枝 辻小百合 浅井泰博 近藤雅英 浅賀詳隆 藤原義秋 玉井悦子 岡山薫 山本松宏 鶴井良久 [27名]

（地域計画策定分科会）

☆中野克俊 荏原徹 長瀬三平 鳥居重幸 浅井泰博 近藤雅英 浅賀詳隆 藤原義秋 玉井悦子 岡山薫 山本松宏 鶴井良久 [12名]

(★会長 ◎筆頭副会長 ○副会長 ☆分科会委員長)

Special Thanks (スペシャルサンクス)

- ・千郷中学校芸術部
- ・「まちづくりアンケート」にご協力、ご回答いただきました千郷地域の皆さん
- ・「まちづくりアンケート」にご協力、ご回答いただきました千郷地域の各種団体の皆さん
- ・本計画にご協力いただきました、すべての方々



※会議はすべて西部公民館（ちさと館）で開催されています。



地域活動支援員参加による計画案検討



地域計画策定分科会



地域協議会

イラスト
千郷小学校3年 宮本泰良



千郷地域自治区

「みんなが活躍できるまちづくり計画」

製作・発行 千郷地域協議会
発行年月 令和元年11月(2019年)

せいかい ひき
正解はほくもいれて72匹だよ!

